



福貿 ニュース

福岡貿易会情報誌

新年あけましておめでとうございます



公益社団法人 福岡貿易会
 会長 土屋 直知



福岡市長
 高島 宗一郎

新春を迎え 謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃より会の運営・発展にご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は世界的に貿易摩擦や政治的緊張が高まりを見せた一年でした。日韓の関係悪化により貿易縮小や観光客減少など様々な影響が及びました。米中貿易交渉は第1段階の合意に達しましたが、今年秋の大統領選を控え再燃が懸念されます。緊迫する中東情勢、さらには英国のEU離脱が現実的になるなど、海外情勢は引き続きリスク要因を抱えています。一方日本にとって中国・アジアは世界の成長センターとして、ますます期待される市場となっております。また国内では新元号「令和」がスタートし、シェアリングエコノミーの拡大やフィンテックの浸透、そしてキャッシュレス化などデジタルトランスフォーメーションが一層進んだ一年でもありました。

今年は2020東京五輪・パラリンピックの開催年です。昨年のラグビーW杯に続き世界中から多くの方が訪れ、インバウンド需要の伸びが期待されます。また5G通信システムの商用サービス開始は、消費者のみならず企業インフラのあり方を大きく変えることになるでしょう。

様々な社会変革に対応するため、当会としては会員交流会「福貿ビジネスラボ」の開催をはじめ会員間連携の促進や情報発信、グローバル人材育成支援に力を入れていく所存です。会員の皆様方には引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって充実した良い年になりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます。

福岡貿易会におかれましては、日ごろより福岡市の貿易振興及び地域経済の発展に多大なるご貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、数々のチャレンジを行ってきました。その結果、人口は将来推計を上回る勢いで増加し159万人を超え、観光客は年間2,000万人を超えています。市税収入は、政令市で唯一となる6年連続で過去最高を更新し、初めて3,000億円を超えました。元気で住みやすいまちとして国内外から高く評価されています。

福岡市をさらなる成長軌道に乗せ、地域経済をより力強いものにしていく「スタートアップ都市づくり」「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」「ウォーターフロントネクスト」などさまざまな福岡市のプロジェクトに、多くの市民や地域、団体、企業の皆様と一緒にチャレンジしていただいているおかげで、今まさに福岡市は次のステージへ上がろうとしています。

「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指して、このオール福岡の一体感、勢いを止めることなく、福岡市を次のステージへと飛躍させるチャレンジ「FUKUOKA NEXT」に引き続き全力を注いでまいりますので、福岡貿易会の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



令和元年度 福岡貿易会 年末交流会開催



《講演会 講師》
榎原 英夫 様

と題し、元伊都国歴史博物館館長の榎原英夫様にご講演頂きました。講演では、我が国の草創期、特に北部九州における国の誕生から倭国の時代にかけて、当時から中国大陸や朝鮮半島との窓口、交流拠点として大きな役割を果たしていた福岡の成り立ちと歴史を紐解くとともに、邪馬台国の所在地論争では魏志東夷伝の分析や中国音韻学の研究などから従来奴

令和元年11月25日(月)、西鉄グランドホテルにて令和元年度の福岡貿易会 年末講演会・会員交流会を開催しました。第一部の講演会では、「古代史から現代を考える～黎明期の福岡・九州を求めて～」

国が存在したと言われる福岡市から春日市にかけての一角が実は邪馬台国であったという、古代へのロマンが溢れる話をお聞かせ頂きました。

第二部の会員交流会では、会員企業、行政、在福外国館、関係機関の皆様多数にご出席頂きました。土屋会長の開会挨拶、福岡市・中村副市長より来賓挨拶を頂き、嶋津副会長の乾杯のご発声で交流会がスタート。途中、新入会員紹介では、当日出席された7名の新入会員の皆様より力強く抱負を語って頂きました。交流が進む中で宴もたけなわとなり、龍造寺副会長と入江参事が中締め挨拶をされ、最後は役員一同が壇上に上がり、小林副会長の音頭で博多手一本で締めました。会員・出席者同士が懇親を深め、最後まで盛況のうちに終えることができました。



《交流会開会挨拶》
土屋会長



《来賓挨拶》
福岡市：中村副市長



《乾杯ご発声》
嶋津副会長



新規入会会員ご紹介、ご挨拶



在福外国館各位ご紹介



《中締め挨拶》
龍造寺副会長、入江参事



《博多手一本》
小林副会長、役員一同



福岡貿易会 中国広州市・雲南省 経済ミッション報告

広州市都市計画展覧センターでの広州市紹介映像

福岡貿易会では令和元年10月31日から11月7日の日程で、土屋団長以下総勢22名で中国広州市及び雲南省に経済ミッションを派遣した。主な訪問先とその内容について報告する。

＜広州市行程＞

11月1日朝から広州市都市計画展覧センターを視察。同センターはガラスとアルミ素材を多用したインパクトのある外観の建築物で2017年にオープン。広州市の発祥は秦の始皇帝の時代（紀元前2世紀）とされ、館内では2千年にわたる時代毎の都市の変化を4DシネマやVRなど最新デジタル技術を使って学べる仕組みとなっている。体験型アトラクションも導入され、さながらテーマパークのようであった。



福岡-広州経済交流会

昼からは、姉妹都市締結40周年を記念する「福岡-広州経済交流会」に出席した。福岡市・高島市長と広州市・温国輝市長をトップに行政、企業関係者など約100名が出席し、両市の経済状況、ポテンシャルの紹介や、経済人同士のネットワーキングなどが行われた。

終了後、在広州日本国総領事館を訪問し、石塚総領事より現地ビジネス概況を伺った。広州市は優秀な人材が集まりイノベーションが盛んな都市。日本には医療介護サービスやバイオなど新技術を求めている。広州市だけで人口約1,400万人、香港・マカオとの大湾区圏では6,600万人で11兆円規模の巨大マーケット。その購買力は一国に匹敵。和食の需要はあり、特に高級食材が期待できる。日本酒、八女茶のほか豊富な食材が揃う九州はチャンスではないか。情報発信の仕方が大事で、総領事館としても販路拡大につながるよう努めたいとのことであった。食材の輸出やビジネス交流を深めるうえでも直行便の就航が望まれる。



石塚総領事を囲んで

その後、広州交易会会場へ移動し、「福岡市ブース」開会セレモニーに出席した。広州交易会は世界210か国から約20万人のバイヤーが集まる大規模な国際展示会。今回初めて福岡市ブースが設営され、会員企業の西福製茶、山口油屋福太郎、井上通商、エム・ワン・エンタープライズの4社が出展。いずれも多くのお客様で賑わっていた。



土屋団長参加によるテープカット

夕方からは、広州民営投資株式会社（ICAP）との意見交換に臨んだ。同社は広州市政府の主導のもと、中国53社の民間上場企業の共同出資によって設立された投資会社。株主にはライフサイエンス、人工知能、ITなどの分野の企業が集まり、各自の技術や業界における影響力やリソース活用等による新規事業創出を使命としている。2017年の中国バイオ産業大会において広州市は国内初の「バイオ医薬産業基金」を創設。同社はその100億元規模の基金運営を任せられ、民営企業を国有財政基金の運営管理者に据える全国的にも先駆的な例となった。



ICAPオフィスにて

日本との双方向の連携可能性を探るべく、京都大学との業務提携をはじめ大手商社、医療機器メーカー、製薬会社との交流、業務提携を積極的に進めている。姉妹都市である福岡との連携にも期待しており、今回福岡地域戦略推進協議会（FDC）とのMOU締結を期に福岡に事務所を設置する予定とのことだった。

同社の投資プロジェクトに対しては行政審査手続きを優先的に行うよう指示が出ているとのこと。余談ながら中国視察の最終日、帰りのフライトに同社スタッフが同乗していた。早速福岡で関係機関回りや企業訪問等を始めるとのこと。動きの速さがイノベーションにつながるのだろう。



ICAP張董事長との交流



XAG社事業説明



珠江から見た夜の広州市街



雲南省の主要産業・花卉市場にて



鉄道コンテナセンター搬入口



中鉄聯集オフィスにて



麗江・玉龍雪山を望む

翌11月2日は農業用ドローンを製造するXAG社を視察した。同社は2007年に設立。2018年の農業用ドローン売上台数は全世界で約1万台、市場シェア5割を誇る。中国では農家数が16年間で21%減少し従事者の高齢化も進んでいる。一方、農機具利用率は16年間で倍増。農業散布ではトラクター、飛行機、ヘリなどが使われているが、高コストの割に不正確だったり、農業の使い過ぎによる環境への悪影響といった課題が多い。

同社が製造するドローンは測量用と散布用の2種類。測量用機は地形を読み取り、データをAIが解析して障害物などを把握。そのデータに基づいて散布用機が効率良く農業等を散布する。ドローンの操作はスマートフォンで可能。操縦する必要がなく自動で運転し、必要な個所にピンポイントで散布を行う。果樹園の樹木1本毎に上空でホバリングしながら農業を散布することも可能。4方向にレーザーを備えており、飛行精度は10cm以内という。実際にドローンの飛行実演を見せてもらう。最新の散布用ドローンはタンクに20ℓ分の農業等を搭載可能で最大速度は12m/秒、飛行時間は約15分。一度で約30ヘクタールの広さに散布できる。バッテリーは15分で充電可能。価格は1台あたり5万元（約80万円）。



ドローン飛行実演

ドローンの使用データは自動的にXAG社に送られる仕組みで、中国国内のどこでどのくらい農業が撒かれているかなどの情報を一元的に管理、分析して次の開発に活かしており、将来的には様々な農業サービスを提供したいとのことだった。

ハードウェアをセンサー、IoT、クラウドで繋いでAIが解析するというスマート農業の一つの形を見た。データ活用でさらなる省力化や新技術開発につなげており、今後さらに進化していくのだろう。便利な半面、情報管理をしっかり行う必要があると感じた。



XAG社ショールームにて

<雲南省行程>

歴史的にはかつて中国と東南アジア、西アジアさらには欧州をつなぐ国際貿易ルートの要衝であった雲南地域。一帯一路構想によって改めて地理的優位性がクローズアップされ、昆明を起点に各方面に向けインフラ整備が進められている。11月4日は朝から省政府交通運輸庁を訪問し、その進捗状況等を伺った。



雲南省交通運輸庁にて

省政府で力を入れているのが中国ラオス鉄道の整備。昆明からラオスの首都ビエンチャンまで約1,000キロの標準軌の鉄道が2022年までに完成予定。ラオス国内は単線で整備。将来は複線化を見据えている。鉄道整備費用負担、機関車の提供、運営は中国側が行う。将来的には南に延伸してシンガポールまでつなげたい意向。ベトナム方面は国境の河口まで整備済み。ミャンマー方面は国境の瑞麗からマンダレーを経て、ヤンゴンに至る路線とチャオピュ港に至る路線の2路線の建設をミャンマー側に提案中。話し合いはまだこれからである。国内路線では、昆明と重慶が2020年初めに高速鉄道（350km/h）でつながる。

高速道路については昆明を起点に瑞麗など省内6方面への高速道路整備を進めており、2020年までにつながる見込み。ベトナム、ミャンマーも国内インフラ整備に力を入れており、高速道路でつなげたい。相手国の経済状況にもよるが、連携していけると考えている。また昆明には国内で5番目に大きい国際空港があり、日本へは大阪への直行便が週3便で、切り花や松茸などを輸出している。2020年2月には東京への直行便が開設予定とのことである。

省政府側は各部門の担当者を揃えて質問にも真摯に応じて頂いた。またラオス、ミャンマー国境の西双版納やベトナム国境の河口への交通視察の提案を受けるなど、大変好意的に接して頂いたことに感謝したい。

午後は昆明の鉄道コンテナセンターを訪問し、中国国内の鉄道コンテナ輸送を統括する中鉄集裝箱運輸有限責任公司（CRCTC）と同センターを運営する中鉄聯集（CRIntermodal）に貨物の動きなどの話を伺った。

CRCTC社は中国国鉄のコンテナ部門を民営化し効率化を図るべく2003年に設立。国内の鉄道コンテナ輸送を統括しており、カザフスタン、ロシア、ペラルーシ、リトアニア、ドイツの鉄道組織とも協力関係を確立。欧州向け貨物列車“中欧班列”の運営元である。

視察時は欧州向け貨物の積み降ろしシーンを期待したが残念ながら列車の姿はなく、広い敷地にコンテナが積みあがり、たまにトラックが行き来するのみであった。現状で中欧班列は内陸部では主に、電子機器などの産業集積がある重慶や成都などが起点になっている。昆明に中欧班列の貨物列車が来たのは2015年の1本のみとのことだった。

昆明の鉄道コンテナセンターは2006年に運営開始。昆明経済開発区の物流エリアに位置し、昆明南駅と隣接している。4本の鉄道貨物積み降ろしラインを持ち、税関や保税區、検査施設を備える。物流倉庫面積は27万㎡で、さらに拡張工事中。雲南省内及び周辺省から肥料、砂糖、リンなど鉱物資源、コーヒー豆、煙草などを集めてコンテナ積載し、南寧、広州などを經由して海外へ出荷。この鉄道と水運の組み合わせ“鉄水連運”が全体の31%を占めているとのこと。2017年度の取扱量は46.1万TEU。同様の鉄道コンテナセンターが国内12か所（重慶、成都、西安他）で稼働中とのこと。



鉄道コンテナヤード

昆明は中国と東南アジアをつなぐ地理的な優位性がある。ラオス鉄道など昆明を起点とするインフラ整備計画は省政府に聞いたとおりで、中国西南部の物流ハブとして広域的に貨物を集約することでコンテナセンターの存在感と重要性がさらに高まっていくものと思われる。

夕方からは、雲南日本商工会のメンバーとの意見交換及び交流会を行った。同商工会は雲南省でおそらく唯一の日系経済団体。トピックとしては昆明に進出する個人事業主が増えているそう。上海や広州などの大都市に比べて競合の少なさを見越し、ネイルサロンや内装業、日本式居酒屋などで成功している経営者の話を聞いた。タワーマンションが建設ラッシュで都市化が進む昆明。観光地であり物価は決して安くはないが、気温が年中安定していて住みやすい街だそう。大きく儲けようと思わなければ、昆明に限らず中国の地方都市にはビジネスチャンスがあるという話が印象的であった。



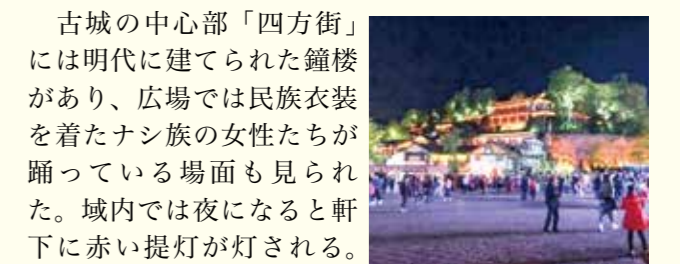
雲南日本商工会メンバーとの交流

11月6日は雲南省麗江市にて少数民族地域の観光開発、伝統文化活用状況等の調査を行った。麗江市の旧市街・麗江古城は宋代末期の12-13世紀に少数民族ナシ族によって造られた街。当時は雲南からチベット方面を結ぶもう一つのシルクロード「茶馬古道」の中継地として栄えた。改革開放政策以降、文化資源を利用した観光開発が進められ、1997年世界文化遺産に登録される。



麗江・四方街の鐘樓

木造瓦葺きの1-3階建ての家屋と石畳の道で統一された街並みが続く。域内は環境保護のため商業開発や住居修復、車の乗り入れなどが制限されている。住みにくさから既存住民が転出し、空いた住居に外部から来た人々が観光客向けのビジネスを行っている。家屋の外観はそのまま、内部は土産物屋やカフェ、ホテルなどに。スターバックスやケンタッキーなど大手チェーン店も見られたが、店構えに派手さはない。



夜の麗江古城

古城の中心部「四方街」には明代に建てられた鐘樓があり、広場では民族衣装を着たナシ族の女性たちが踊っている場面も見られた。域内では夜になると軒下に赤い提灯が灯される。噂には聞いていたが本当に「千と千尋の神隠し」の世界のようである。その一方で、大音量で音楽が流れて観光客が大騒ぎしている広場もあり、観光地化が進んでいる。

麗江のもう一つの観光資源の柱がナシ族独自の言語、トンパ文字（象形文字）。現地では店舗の看板や家屋の壁に書かれていたり、異文化感を強調するために使われている。残念ながら文化の伝承は難しいようで、ナシ族現地ガイドの話では読み書きができる者は200名程度まで減り、自分の子供は使えないとのことだった。

麗江古城、トンパ文字、玉龍雪山の3つの世界遺産を持つ麗江。2019年の春節連休期間中は1日あたり25万人の観光客が訪れたという。昆明からの高速鉄道がつながり、さらに観光都市としての発展が見込まれる。

<まとめ>

イノベーションによる成長を目指す中国改革開放の最前線の広州市と、東南アジアへ向けた一帯一路構想の最前線の雲南省に赴き、現地のリアルな動きを見聞きした。中国の圧倒的な規模とスピードを肌で感じた経済ミッションであった。



福岡貿易会 マレーシア小ミッション報告

2019年3月に福岡からマレーシアの首都クアラルンプールに直行便が就航したのを記念し、(株)トクスイコーポレーション徳島社長を団長に総勢12名でマレーシアへ小規模経済視察団を派遣しました。LCCのエアアジアXの為、シートピッチも窮屈な空旅を想定していましたが、想像よりも快適で、ストレスもあまり感じることなく渡航できました。(機内がやけに寒いのでご承知を。ブランケットはもちろん有料です!)

Day 1

到着して、クアラルンプール空港から市内までの車窓から見える道路や建物は整然とし、バンコクなど他の東南アジア都市よりも一段階違うように感じられました。まず到着して最初の訪問はジェットロ。商社などマレーシアで長いご経験のある菅原アドバイザーからブリーフィングをしていただきました。マレーシアでは前年にナジブ政権からマハティール政権に政権交代があり日本でも話題になりましたが、そこからの政治経済の変化や日本企業の進出トレンド等多方面に解説頂きました。

Day 2

翌日は、朝からマレーシア日本国際工科院 (MJIT) を訪問。MJITは日本の小泉首相(当時)がマハティール首相(当時)に提案し、日本型の工学系教育を行う大学を設置する構想がスタートし、2011年にマレーシア工科大学の傘下に、独立性の高い工科院として開校しています。日本の各大学・研究機関から派遣された教員10名が常勤として教育や研究を行う他、技術協力プロジェクトの事業組織としてJICAも駐在しています。寄付講座や受託研究、日本へのインターンシップなどの産学連携を積極的に進め、ダイキンなど日本の大手企業ともMOUを結び連携を行っているとのこと。日本式工学教育理念に基づき、研究室単位での協同的な研究をおこなっています。今回研究室も見学させて頂きましたが、測定機材が

並べられる中、研究を行う姿はまさに日本の研究室そのもの。

次は、飯塚発、ブロックチェーンでマレーシアに進出するChaintope社のマレーシア開発拠点を訪問。Chaintope社は日本ではブロックチェーン業界をリードする企業の一つですが、更にマレーシアに新たに拠点を設置した理由としては、マレーシア政府の情報産業への様々な優遇・誘致政策や国内や東南アジア諸国やイスラム圏から多くの情報技術人材が集まるからとのこと。それは、マレーシアが英語圏であるということと大いに関係していますが、やはり100%英語で仕事を進められることは非常に魅力的だそう。マレーシア代表の吉崎さんからは、現在特に電力業界向けのブロックチェーンを用いた開発を中心に説明頂きましたが、高度な内容に理解が追いつかずとも、このマレーシアが最先端のIT産業の集積地として十分に魅力的なエリアとなっていることを強く感じました。

その日の訪問の最後はマレーシア投資開発庁。マレーシアでは、ブロックチェーン等情報先端産業の拠点進出には「スーパーマルチメディアコリドー(MSC)」と呼ばれる税制優遇措置や、既存事業の近代化や自動化への再投資に対する控除など、国内での産業高度化に向けた様々な政策がとられています。対応頂いたSUKRIシニアディレクターから、政府からの様々な税制優遇措置などの説明を受け、団員からも活発に質問が飛びました。

そして夕食は、マレーシアで活躍するビジネスパーソンを招いての夕食会。NNAマレーシアの六角編集長、イオンマレーシア西川さん、九電工マレーシアの原田社長、谷崎さん、三井物産の高橋さんのゲスト5名をお招きし、マレーシアでのビジネスや現地での肌感覚など色々お話を聞きながら盛り上がりしました。

皆さん既に世界を舞台にビジネスをして来られた方ばかりです。夜会の最後には、NNAの六角編集長に、「マハティール政権とその後」をテーマに講話を



頂きました。ルックイースト等日本と関係の深いマハティール政権は、日本では比較的好意的に取り上げることが多い中、マレーシア国民からの違った目線、一筋縄では行かない政権内での軋轢等、現地取材するメディアならではの立場から、なかなか聞けない内情を交えお話頂きました。

Day 3

三日目は、早朝から空路で首都クアラルンプールからジョホール・バルへ移動。同市で開発が進むイスカンダル・マレーシアは、マレーシア政府が進める重点開発の一つ。2006年から開発が始まり、2025年に終了予定の長期計画です。今回その中心地域であるメディニ地区の開発に携わる三井物産殿にアテンド頂き、その開発の状況を視察することができました。



現地で受入頂いた中野副社長

現地では、開発会社「メディニ・イスカンダル・マレーシア」にご出向中の中野副社長に、開発状況や施設概要について説明頂きました。開発の総面積は東京都と同じくらいの広さがあり、日本企業のほか、中国の不動産系企業なども「フォレスト・シティ」を始めとして、続々と大規模開発を進めています。前政権の親中の政策と現政権とのせめぎ合いが、この地域での動きにも大いに影響を与えているようです。メディニ地区でもオフィスビルやメディニ9と呼ばれる大型コーワーキングスペース、工業団地、

Educity、レゴランド、コンドミニウムなどの特徴的な開発が進んでいます。シンガポールとは橋を挟んで目と鼻の先に有りながら、シンガポールの一等地が1平方フィートあたり6.9ドル〜7.6ドルであるのに対し、イスカンダルではメディニ地区などの新築物件でも1.0〜1.3ドルで借りることができます。そのような環境も有り、海外企業や居住先としてどんどん引き合いが増えているとのこと。

今回入居する日本企業テナントの一つとしてOK Waveを視察させて頂きました。たまたまマレーシア出張中であつた松田元社長も同席頂いて、進出理由などお話を聞く機会がありました。やはりその一番の理由は人材面とのこと。このジョホール・バルも大学が近くに有り、有能な人材が集まりやすい。また海外からも人材が集まり、入居コストや人件費もシンガポールやクアラルンプールよりも低いこの地域は拠点としても魅力的。

その他に視察したEスポーツアカデミーは、Eスポーツトーナメントで活躍する人材を育成している企業。アカデミー内では各生徒が一面のPCの前に座り、ゲームをしながらマイクに大声を張り上げ(ゲーム内で会話している)ている姿は異様に見えます。Eスポーツが一大産業として注目されていると聞きますが、まさにその現場が垣間見えました。イスカンダル内では、入居説明を受ける中国人や韓国人を時々見かけましたが、やはり情報の早い彼らがいち早くこのエリアにも進出してきていると感じます。

日本ではかつての製造業の組立・加工基地の印象が強いマレーシア。視察を終え、この国がアジアの中でのビジネス拠点としてますます世界中から注目を集めていると感じます。英語も不自由なく通じ、シンガポールよりもコスト競争力があり、政府も情報産業を中心に産業の高度化を推し進めています。日本企業もかつての製造業よりもサービス業の進出が圧倒的に多いそうです。かつて存在した福岡とクアラルンプールの直行便が再び今回就航したことをきっかけに、新しいマレーシアに再び注目してみても如何でしょうか。

株正興電機製作所 押野 真基朗
(前福岡貿易会業務課長)



MJITでの説明



MJIT研究室を視察



Chaintope社のKL拠点



進出するOK Wave



Eスポーツアカデミーの様子



イスカンダルの全影をバックに



『アフリカ・イノベーションセミナー』開催

令和元年9月2日(月)、アフリカのイノベーション事情をテーマとした国際ビジネスセミナーをジェトロ福岡・福岡市・福岡貿易会の三者連携により開催しました。近いうちに世界人口の2割に達すると言われるアフリカ。社会インフラに課題がある中で、携帯電話とモバイルマネーの普及により現地発スタートアップや外資が入り乱れて新たなイノベーションが生まれています。セミナーではジェトロ・ナイロビ事務所によるアフリカビジネス最新事情の基調講演をはじめ、スタートアップが数多く誕生する国の一つ・ケニアの現地有力VC、サバンナファンド社の投資事例紹介、またパネルディスカッションではポテンシャルやリスクなど様々な視点からアフリカを掘り下げ、福岡からでも手が出るアフリカビジネスとは何かを探りました。



パネルディスカッション

第75回 福岡貿易会ゴルフコンペ



令和元年10月16日(水)、芥屋ゴルフクラブにて弊社第75回ゴルフコンペを開催しました。当日は抜けるような青空が広がる中、土屋会長、並田相談役、嶋津副会長、小林副会長をはじめ総勢34名の参加のもと終始和やかな雰囲気の中で秋のコンペを楽しみました。表彰式では今回も会員企業のご協賛による豪華賞品で大いに盛り上がりました。ご協賛いただいた皆様にあらためてお礼申し上げます。次回、令和2年春のコンペは4月21日(火)開催予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

新会員の紹介

4PSDエイジェンシー

代表者：代表 山口 義嗣
所在地：福岡市城南区アーベインルネス別府5-501
TEL・FAX：092-231-9466
MAIL：yfyamaguchi@gmail.com
URL：http://www.4psdjapan.com
主要業務：
・経営陣・管理職層向け
「実践・英対話道場」主宰
・グローバル人材育成塾主宰



実践・英対話道場

当社の特色：

「経営陣・管理職層に英語力があってこそ若い世代も育ち未来も開ける！」をモットーに、企業のリーダー向けに特化した英対話道場を、40年以上グローバルビジネスの世界で生きてきた元外資系社長が開設しました。大人には大人に適した上達法があります。個々の時間的制約、実力・個性に合わせた柔軟な対応で好評を得ています。また、豊富な海外経験から練り出される国際処世術伝承も魅力の一つです。

JA三井リース九州株式会社

代表者：代表取締役社長 小野 武彦
所在地：福岡市博多区下川端町2-1 博多座・西銀ビル8階
TEL：092-263-1301 FAX：092-263-1020
URL：https://www.jamitsuilease-kyushu.co.jp/
主要業務：
・機械設備等各種物品のリース
・割賦及びファイナンス事業
・各事業に関するサービス



当社の特色：

2019年4月に親会社であるJA三井リース(株)九州営業本部と事業統合し、JA関連の系統組織や農家および法人向け業務を引き継ぎました。沖繩を含めた九州全域のお客様向けに、建設機械や工作機械、トラック、商業設備、医療機器などのリースのほか、土地・建物の賃貸、ファイナンスを手がけております。従来のリース業に捉われない、新たなビジネスを創造してまいります。

オルケスタ税理士法人

代表者：代表社員 山下 久幸
所在地：福岡市西区姪浜駅南3-1-9-2F
TEL：092-894-1548 FAX：092-510-1269
MAIL：info@orquestax.com
URL：https://orquestax.com/
主要業務：
・国際税務顧問
・資金調達コンサルティング



当社の特色：

当社は、「国際税務の相談」と「資金調達のアドバイス」を得意としております。海外との取引は商売も日本と違うように、税金も国内とは違って特殊な取引となりますので、当社では国際税務を専門に取り扱っている、九州でも数少ない税理士事務所です。また経営で大切な資金の調達も、銀行融資・補助金・助成金など積極的に活用するサポートをしております。

株式会社サン・フレア

代表者：代表取締役社長 笹井 紘幸
所在地：福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3F
TEL：092-686-8717 FAX：092-686-8761
MAIL：ml-sales-kyushu@sunflare.co.jp
URL：https://www.sunflare.com/
主要業務：
・翻訳 ・ライティング(テクニカルライティング/メディカルライティング等)
・クリエイティブ制作 ・コンサルティング
・調査(各国法規制調査/規格調査/特許調査等)
・申請支援(薬事/各種業許可/海外進出等) ・教育・研修

当社の特色：

当社は70言語以上にわたり、年間32,000件超の翻訳案件を取り扱っている翻訳会社です。専門分野ごとに選抜した6,000名超の翻訳者による迅速かつ確かな品質の翻訳で、機械/ICT/法務/金融/医療/知的財産/国際協力等、あらゆる業種の企業様からご好評をいただいております。また、充実したクリエイティブ制作チームにより、文書・動画・音声・Web・ソフトウェア等、さまざまなデータ形式の編集にも対応。海外対応における言語のお悩みを解消します。



福水商事株式会社

代表者：代表取締役社長 田中 道孝
所在地：福岡市中央区長浜3-11-3-605
TEL：092-711-6110 FAX：092-714-0880
MAIL：info@the-fukusui.com
URL：https://fukusui1950.co.jp/
主要業務：
生鮮冷凍魚介類・加工水産物国内卸売販売
及び生鮮食品・冷凍食品・加工食品・
酒類の海外輸出



当社の特色：

弊社は間もなく創立70周年を迎える水産仲卸業です。福岡、松浦、佐世保、長崎に事業所を構え仲卸としてだけでなく、海外へ水産品を始めとする食品・酒類の輸出商社としても約30年の実績があります。また、自社内に品質管理室を設け衛生的に管理された出荷を行っております。永年蓄積してきたさかかなに関するプロフェッショナルな知識や経験と、食品安全への取り組みにより、国内外のお客様に高鮮度で安心安全な『食』を安定的にお届けすることを使命として日々の業務に取り組んでおります。

株式会社ユースフル

代表者：代表取締役 本 まなみ
所在地：福岡市中央区大名1-1-4 大博ビル403
TEL：092-720-1025 FAX：092-720-1026
MAIL：usefultunag-moto@yahoo.co.jp
主要業務：
販売コンサル業務・パッケージデザイン業務
販売請負業務



当社の特色：

弊社は15年間百貨店を中心にスタッフの派遣・請負業務を得意として参りました。それらの業務を基盤に「商品を百貨店に出店したいがどうすればよいかわからない」と言ったお悩みを抱えているメーカー様を出店へとお繋ぎ致します。又商品構成・パッケージデザイン等お客様の目に留まりやすいブランディングを得意としております。

株式会社 三井住友銀行

代表者：理事 九州法人営業本部長 兼 福岡法人営業部長 岩崎 匡志
所在地：福岡市博多区博多駅前1丁目3番3号
TEL：092-411-6669 FAX：092-411-6847
URL：https://www.smbc.co.jp/
主要業務：
銀行業
本店および国内・海外支店が、預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、内国為替業務、外国為替業務、社債受託および登録業務、金融先物取引の受託業務、証券投資信託の窓口販売業務等を行っております。

株式会社みずほ銀行 福岡営業部

代表者：福岡営業部長 野田 博喜
所在地：福岡市中央区天神1-13-1
TEL：092-734-3205
URL：https://www.mizuho-fg.co.jp
https://www.mizuho-bank.co.jp
主要業務：
・銀行業

セミナー等開催報告

海外市場向け商品デザインセミナー

- <日 時> 令和元年7月25日(木) 13:30 ~ 15:30
<会 場> 福岡貿易会事務所
<講 師> JUNNO DESIGN(同)代表 Anton Noffke氏
<内 容> 在福外国人デザイナーが語る海外で選ばれる商品デザインのヒント
- 参加者のことば**
➤ ワークショップで一つの課題を話し合い発表するなど良い学びの場となりました。



ベトナムビジネス最新事情セミナー

- <日 時> 令和元年7月26日(金) 14:00 ~ 16:30
<会 場> 福岡商工会議所2階 第2研修室
<内 容> 「米中貿易戦争がベトナムや東南アジアに及ぼす影響」
(株)エヌ・エヌ・エー 代表取締役社長 岩瀬 彰氏
「企業法投資法等の重要法令の改正状況から見る、
ベトナムの外資企業への対応の変化」
明倫国際法律事務所ベトナムオフィス所長 弁護士 塚原 正典氏
- 参加者のことば**
➤ 米中貿易摩擦に加え急成長しつつあるベトナム事情が聞け有益だった。



外国人を雇用したら知っておきたい税務のポイントセミナー

- <日 時> 令和元年9月5日(木) 18:30 ~ 20:00
<会 場> 福岡貿易会事務所
<講 師> 法師山康成税理士事務所代表 法師山 康成氏
<内 容> 入管業務と税務、外国人の居住形態と課税のしくみ
租税条約の適用、留学生、技能実習生採用のケーススタディ



外航貨物海上保険セミナー

- <日 時> 令和元年9月10日(火) 14:00 ~ 16:00
<会 場> 福岡商工会議所2階 第2研修室
<内 容> 「外航貨物保険の基礎」
三井住友海上火災保険(株)福岡支店法人営業第三課課長 秋葉 治伸氏
「事故発生時の手続き」
三井住友海上火災保険(株)海損部 九州海損グループ 鈴木 彩花氏
- 参加者のことば**
➤ 保険の補償内容および請求手続きについて仕組みがよく分かった。



貿易実務講座 輸入実務編 輸出実務編

- <日 時> 令和元年10月16日(水)・17日(木) 9:30 ~ 16:30
<会 場> 福岡商工会議所2階 第2研修室
<講 師> 中矢一虎法務事務所(司法書士行政書士)代表 中矢 一虎氏
<内 容> 貿易実務の入門知識をベースとして、輸入(海外調達)実務および
輸出業務に関し、より広範囲な基礎力を養う。
- 参加者のことば**
➤ 輸入の留意点を商品開拓から販売までの流れの中で講義いただき、全体的に最低限必要な知識が身についた。



イスラムビジネス最新事情セミナー ※ジェトロ福岡と共催

- <日 時> 令和元年10月29日(火) 14:00 ~ 16:00
<会 場> 福岡商工会議所2階 第2研修室
<内 容> 「ドバイを中心とした中東でのビジネス機会について」
ジェトロ 中東アフリカ課 課長 西浦 克氏
「Made in Japanのハラルの販売法とは?」
UTS JAPAN Group CEO 古閑 涼二氏
- 参加者のことば**
➤ 人口構成、所得格差などから富裕層向けをターゲットとする難しさを感じた。
➤ ハラル認証を取っただけでは意味がなく価格設定やターゲット、中間業者の利益を考えることが大事だと学んだ。



社員の英語力向上セミナー ※福岡商工会議所と共催

- <日 時> 令和元年11月5日(火) 14:30 ~ 17:00
<会 場> 福岡商工会議所ビル4階会議室
<内 容> TOEIC PROGRAM概要説明・企業における活用状況
(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会
事例発表『研修制度の英語教育の取り組みについて』
(株)リックス 製品事業部 管理部管理グループ
使える英語の効果的習得法
(株)ビズコム 代表取締役 鹿野 晴夫氏

- 参加者のことば**
➤ 英語学習の必要性をいかに社員に伝えていくかが大きな課題と感じた。



食品輸入実務者向けセミナー

- <日 時> 令和元年11月13日(水) 14:00 ~ 16:30
<場 所> 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
<内 容> 「食品衛生法における輸入手続き等について」
福岡検疫所食品監視課輸入食品相談室長 土井 良一氏
「畜産物輸出入の手続き」
動物検疫所門司支所博多出張所検疫官 林 奈央子氏・桐原 志保氏

- 参加者のことば**
➤ 現在タピオカの輸入で動いており、実例がわかり非常に役に立った。
➤ 畜産物の業務には携わっていないが、他の食品との手続きの違いや輸入の仕組みについて知ることができ参加して良かった。



貿易保険&海外与信管理入門セミナー

- <日 時> 令和元年11月26日(火) 14:00 ~ 16:30
<場 所> 福岡商工会議所ビル2階 第1研修室
<内 容> 「貿易保険について」
日本貿易保険大阪支店 営業グループ調査役 斉藤 健佑氏
「海外与信管理入門(中国・ASEAN)」
(株)クレディセイフ企業情報 代表取締役 牧野 和彦氏

- 参加者のことば**
➤ そもそも貿易保険の存在を知らず、後払決済のリスクがとても大きいことが分り参加して良かった。
➤ 日本と海外与信の違いが分かった。レベルの高い内容で非常に有益だった。



<夜間講座>

ビジネス英会話講座 初級編&中級編

- <日 時> 初級編:平成31年4月18日~令和元年8月8日
中級編:令和元年9月12日~12月19日
毎週木曜日19:00~20:30 各講座15回
<場 所> 福岡貿易会事務所
<講 師> シーモア イングリッシュ アカデミー 代表 Mr. Anthony Seymour
- 参加者のことば**
➤ 参加者が、近い業界に多く、お互いに使用するイメージを共有することができた。
➤ 講師の人柄とクラスのオープンな雰囲気や気負いや気兼ねを感じることなく心地よかった。



初めてのアテンド英語通訳講座

- <日 時> 令和元年8月21日~9月11日 毎週水曜日 19:00 ~ 20:30 全4回
<会 場> 福岡貿易会事務所
<講 師> (株)インターグループ講師 河野 弥生氏
- 参加者のことば**
➤ 大変レベルの高い内容で良い刺激と経験になりました。普段の業務で英語は使っているものの正しく通訳するというのはやはり難しくプロの通訳の凄さ実感しました。沢山のコツを教えていただき感動しました。
➤ 毎回授業が終わると疲労困憊でしたが、それでも先生や同級生に恵まれ楽しく受講させて頂きました。TEDの動画を先生に教わったポイントで観ると頭が柔らかくなって、俄然聞きやすくなりました。



Seasonal Greetings! How goes your business?

各会員企業全社員が当連載をお読み頂けますように!【海外企業に苦情を出す際の英語での書き方講義】です。実際の事案を使い、今回は「初級向」として実践内容をお届けします:

①「充電器」を中国から輸入。初めての仕入先です。「乾電池用充電器」で乾電池の再利用を図るエコ商材(一般商材)。是を貴社では、大手DIY店で今後販売展開します。先ずは数店舗に的を絞ってテスト販売用として、小口で「48器」輸入しました。主要8店舗で6器のテスト販売。が、抜き取り検査の中で48器の中に不具合品が見つかりました。通電しない商品があり、販売店に卸す前に再度全品検品した結果、6器ほど非通電品が見つかりました。商品としてお店に出せないですね。来月からの新商材として、2週間先にはお店のチラシにも掲載される商品なのですが、この事実を先方に申し立てる場合、皆さまはどう書きますか?考慮点は次の通り:1.不良6器の差替良品を送付して欲しい。2.しかも急いで手配し送付して欲しい。3.その送付では、送料等は先方側負担で。4.この6器を返品するから原因を究明して。5.きちっと報告して防止策を講じて欲しい。英語初級者でも上述5点は書きましょう。

[Dear Mark,

Thanks for your shipment of the 48 battery chargers. We've found out six(6) out of them defective(non-conductivity) during our incoming inspection.] 出だしはこのように書きましょう。最初にお礼を云って、2行目は、「受入検査(incoming inspection)中に48器中に6器不具合品があったんですよ!とします。」We've found out ~を使います。[find out]は「隠れている真相を突き止める」の意。

1,2 & 3.良品送付依頼→So, please ship us new & good-conditioned ones, at all your shipping expenses, for the six defects swiftly hopefully by Dec.10.と云う風に書きましょう。・日本語では「早急に」を、よくある英語手引きではASAP (as soon as possible)と英語訳を当てています

が、これは全然良くないです。相手側に要請する際は、どんな場合でも、きっちりと期日期限を設定しましょう。ASAPは曖昧です。貿易ビジネスでは使わないで下さい。期限を切る書き方ですと相手側もその通りに動きます。不思議とそうなんです!

・新品や良品を纏めて、new & good-conditioned replacementsと書くが一番明確です!「新品で状態が良い取換品」の意。

・送料は貴社負担で→[at all your shipping expenses]としましょう。

4. 返品連絡→ Non-conductivity is a critical defect for battery chargers. After receiving the replacements, we will send the defects back to you at your expenses for your detailed inspection thereof.

4では最初に「非通電するのは充電器には致命的な欠陥ですよ」と大見得を切ります。不具合事案があればこのように書き出しましょう。その上で「代替品受領後、貴社経費負担で不具合品を返品します」と書きます。

5. 究明要請→ Please be sure to send a report on the causes of such defect and also share with us the preventive measures you must take against the current problem.

・[please be sure to 動詞] →「絶対に〜〜して下さいよ」の意。「今発生している問題に対する防止策を講じる」→[take preventive measures against the problem.] ↑の書き方はそれを応用して、[share with us]で「当社にもお知らせ下さい、貴社が講じる防止策を」としています。こうした表現はこの講座を読むだけでなく、実際の貴社商材を例に、このコレポン事例を書き・タイプして、ご自身で雛形を作れば良いですね。

コレポンでのやり取りでは、情報をきっちりとそして具体的に表現し、相手に理解させます。くどくても良いですから、相手側にしっかりと情報・要請内容を伝えましょう。日本語流の言葉や情報の省略は海外企業向け英語コレポンでは、反則行為→「してはならない事」です:

※「海外取引での英語の使い方」に関するお尋ね、「企業向け英語リスニング力UP研修」については、どうぞ遠慮なく小職迄お知らせ下さい。

yhnten14k@yahoo.co.jpへどうぞ! Sincere Thanks for Reading!

福岡貿易会からのお知らせ

今後開催予定のセミナー

※予定につき変更の場合があります。会員以外の方の受講も可能です。

○ 貿易英語講座 応用編

【日 時】 令和2年1月28日(火) 9:30 ~ 16:30
【会 場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
【講 師】 末次通訳事務所代表 末次 賢治氏
【内 容】 貿易の流れに沿ったリスク回避とクレームトラブル回避のコツ
【受講料】 福岡貿易会会員: ¥4,000 / 一般: ¥8,000

○ サイバーセキュリティセミナー 2020

【日 時】 令和2年2月5日(水) 14:00 ~ 16:30
【会 場】 福岡商工会議所ビル3階 307会議室
【内 容】 近年のサイバー攻撃事例と中小企業が取るべき対策等
【講 師】 三井物産セキュアディレクション(株) 関原 優氏
MS&ADインターリスク総研(株) 木村 文彦氏
三井物産インシュアランス(株) 森田 祐丞氏
三井住友海上火災保険(株) 小島 佑太氏
【受講料】 無料

○ 貿易実務業務の盲点と応用(ライセンス・合併)

【日 時】 令和2年2月19日(水) 9:30 ~ 16:30
【会 場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
【講 師】 中矢一虎法務事務所 代表取締役 中矢 一虎氏
【内 容】 インコタームズ2020について 他
【受講料】 福岡貿易会会員: ¥4,000 / 一般: ¥8,000

○ 貿易実務に役立つ通関知識基礎編

【日 時】 令和2年2月20日(木) 9:30 ~ 16:30
【会 場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
【講 師】 中矢一虎法務事務所 代表取締役 中矢 一虎氏
【内 容】 日米貿易協定の原産品申告について
【受講料】 福岡貿易会会員: ¥4,000 / 一般: ¥8,000

<夜間講座>

○ ビジネス英会話講座 上級編(全8回)

【日 時】 令和2年1月21日~3月17日
2月11日を除く毎週火曜日 19:00 ~ 20:30
【会 場】 福岡貿易会事務所
【講 師】 (同)Trenchant 代表 Mr. Bill Fish
【受講料】 福岡貿易会会員: ¥18,000 / 一般: ¥27,000

○ ビジネス英会話講座 超入門(全8回)

【日 時】 令和2年1月23日~3月12日 毎週木曜日 19:00 ~ 20:30
【会 場】 福岡貿易会事務所
【講 師】 Mr. Anthony Seymour
【受講料】 福岡貿易会会員: ¥14,000 / 一般: ¥21,000

- 発行/ 公益社団法人福岡貿易会
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号7階
☎ 092 (452) 0707 FAX 092 (452) 0700
- 発行日/令和2年1月1日 ● 印刷/株式会社西日本高速印刷

